

## 合宿について

詳しいことは7月4日(土)由井三小図書室にて合宿説明会でお話しさせていただきますが、できる人ができる範囲で、が原則です。ねばならないは、絶対にありません。ねばならないは、クラブの主旨に反しません。

費用もかかります。無理をしないで下さい。親が泊まらなければいけないということはありません。コーチの皆さんも心配しています。

6月21日夜、父の日でしたが、南のコーチの皆さんは、合宿について熱心に話し合いをしました。できるだけ役員さんやおうちの方に負担をかけないということを前提に、合宿の内容、役割分担等について相談し、決定いたしました。

子どもたちの安全、健康について配慮することは勿論ですが、楽しく、成果を上げる合宿にするために努力いたします。

09・6・27(土)

南NEWS NO12

## 東京都 12ブロック 3年生大会(2次リーグ)

4/19 多摩川グラウンド

南八王子 対 杉野百草 2-8 (前半0-5)

得点者 森久保君1、平山君1

1次リーグを全勝で勝ち上がり、2次リーグに挑んだ3年生大会の報告です。

2次リーグ初戦の相手は、強豪・杉野百草。

南のキックオフから平山君がドリブルで攻めるが、相手のディフェンスにカットされてしまう。杉野百草がドリブルで中央突破し、そのままシュート!先制点を取られる。

南の動きは非常に悪く、右・左のサイド攻撃に対応出来ていない。

一対一でも負けてしまい、ボールキープ率も悪い。結果5失点で前半終了。

ハーフタイムに川嶋コーチから「もっと一生懸命走りなさいっ!」のゲキが飛び、後半開始。開始早々、いきなりカウンターをくらい6失点目。その後さらに2点を追加され0-8、とにかく1点取る気持ちで南の動きが変わり出した。大橋君のヘディング、谷口君のドリブル、西川君のブロックが良く、相手もドリブルサッカーで挑んでくるようになったので、南がボールキープすることが多くなってきた。

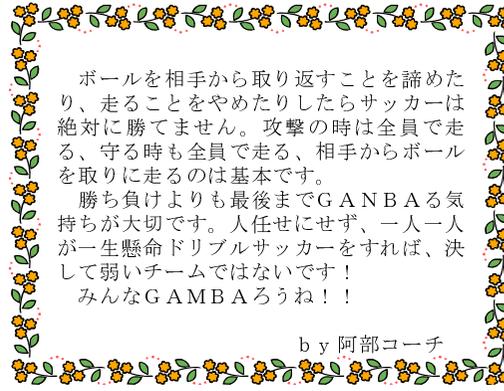
チャンスを作ったのは赤田君だ!相手のボールを奪いドリブルで駆け抜けシュート!惜しいっ!そして、平山君のコーナーキックからのチャンスに森久保君がボールを押し込みゴール!!南に念願の1点が入った。その後も大橋君がドリブルで2~3人抜くが惜しくも点にはならず、最後に平山君が意地の1点を入れて試合終了。立ち上がりの動きの悪さが敗因の試合でした。

南八王子 対 なかのブラック 0-0 (前半0-0)

決勝リーグには進めなくなってしまったが、対杉野戦で悔いの残る戦いをしてしまった子ども達が1勝するぞっ!と誓い、挑んだ2試合目です。

相手はなかのブラックで、南と同じドリブルサッカーをするチーム。この日「絶対シュートを入れる!」と心に秘め、必死に戦った松山君が得意のV字を使いドリブル、阿部君のライン際のランウィズザボール、南らしいドリブルサッカーが出来て前半は0-0で終了。

前半のメンバーが後半のメンバーに「相手の12番スローイン飛ぶから気をつける!」と、とても良いアドバイスもあり後半のメンバーがピッチに入った。なかのベンチからも「ドリブル対決だぞ!」と声がかかり、南としてのぞむとこ



ボールを相手から取り返すことを諦めたり、走ることをやめたりしたらサッカーは絶対に勝てません。攻撃の時は全員で走る、守る時も全員で走る、相手からボールを取りに走るのとは基本です。  
勝ち負けよりも最後までGANBARる気持ちが大切です。人任せにせず、一人一人が一生懸命ドリブルサッカーをすれば、決して弱いチームではないです!  
みんなGAMBARうね!!

by 阿部コーチ

ろだ。関矢君がタッチライン沿いをドリブル、鶴田君の鋭いアプローチ、浜野君のダブルタッチと、良く動いていた。途中、味方ゴール前で大ピンチが何回もあり、松宮君と小山君のカバーリングと、この日初めてゴールキーパーをやってくれた赤田君のナイスセーブでピンチを切り抜けた。そして、ロスタイムの南のコーナーキックからの攻撃にはキーパーの赤田君も相手陣地まで駆け上がり全員で攻めたが、残念ながら試合終了のホイッスル...。引き分けでしたが、なかのも南もお互い全員ドリブルサッカーで戦い、とても良い試合でした。

## 初めての農業体験

1年 FW 平本 直希

初めての農業体験はわからないことばかりで、農業のコーチ(川嶋コーチ)から注意や掘り方など色々な事を教えてもらいました。ジャガイモを掘るのはむずかしそうだったけれど、やってみると意外と簡単でした。でも、毎日やる人はすごく大変だなと思いました。

すごく大きなジャガイモでこんなに立派なのは初めてでびっくりしました。一人20個以上とれてとてもうれしかったです。

農業の後半はサツマイモを植える作業でした。ジャガイモがあった所にサツマイモを植えるため、かたくなった土をほぐす作業はとてもむずかしく、それをカマゴコ型にするのが大変でした。葉(苗)はななめに穴を掘りそこに植えました。

今日とったジャガイモはとてもおいしく、非常によい体験ができました。



サツマイモの畝作り

## 土をさわって感じたこと

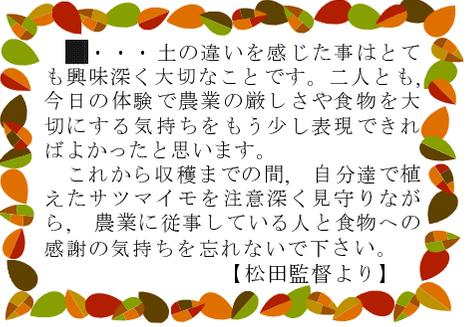
1年 DF 小泉 智也

土をさわって感じたことは、文化大グラウンドの土とはちがって、農業体験で行った畑の土はふかふかしてかたくなかったことです。また、文化大の土は黄色くて湿って(しめって)いるけれど畑の土は黄色く無く乾いて(かわいて)いたことです。

畑の土は中までかたくなっていると石なども入っていることがありました。やわらかにするとさらさらになりとても気持ち良かったです。

サッカーだけではなく、農業体験を通して農業、食、環境、これからどうなっていくのか等を考えることができれば素晴らしいですね。

by 南のアンパンマン



■■■■土の違いを感じた事はとても興味深く大切なことです。二人とも、今日の体験で農業の厳しさや食物を大切に作る気持ちをもう少し表現できればよかったと思います。

これから収穫までの間、自分達で植えたサツマイモを注意深く見守りながら、農業に従事している人と食物への感謝の気持ちを忘れないで下さい。

【松田監督より】